

青森県



青森県歯は、IT推進及びネットワーク構築事業の一環として、昨年度より、「ファーストクラス」というグループウェアサーバーの一つである「FCI」を利用し、会員への情報提供、及び会員相互の情報交換を可能にした。

「FCI」は元々、八戸市の医療従事者有志により、平成7年頃に立ち上げられたもの。技術者の協力もあり、現在では、歯科医師ばかりでなく、医師、薬剤師など、全会員数約800名を有する。

青森県歯が「FCI」に興味を持ち始めたのは平成12年頃で、当時の企画調査委員会が、独自に委員相互の情報交換の会議室を立ち上げたことが契機である。そして、昨年度の執行部一新とともにIT推進への機運がより高まり、「八戸歯を始めとした本システム利用の取り組みを県歯の業務にも取り込めないか」というところから、検討を始めた。

利用開始から程なくして、理事者全員が本システムに参加し、「FCU」上に、

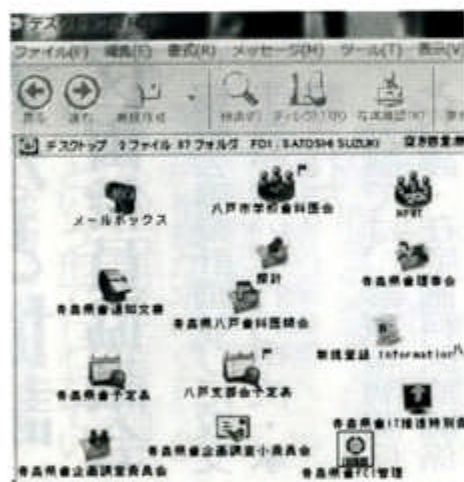


図1 「FC1」デスクトップの表示の一部

理事者相互の連絡場所であり、事務方から即時性の情報提供もできる「青森県歯理事会会議室」を立ち上げた。この結果、月1回の理事会のみでは不足する部分を大いに補うこととなった。

その他、現在の有用な会議室としては、図1に示すように、カレンダー機能を利用して県歯の各種行事や委員会開催予定を表示する「青森県歯予定表」、県歯から会員へ送付した全書類及び「青歯会報」（青森県歯月刊冊子）をデジタル文書で格納する「青森県歯通知文書（図2）」などに加え、ほぼ全ての常任委員会会議室

――推進への取り組み

を設けており、関係者のみに見えるよう、セキュリティが維持されている。逆に言う
と、「FCI」上には約60
0もの会議室が存在するが、
個々のPCに表示されている
もののみが、各自に閲覧を許
された会議室となる。

また、閲覧者を確認できる履歴機能、未読メッセージの赤旗表記、個人メール管理、

メールやメッセージの検索機能もある。

本システムへの県歯会員の参加率は当初、3割程度だったが、各地区の企画調査委員への働きかけにより過半数に達した。さらに、青森県歯の

運用以前から本システムを利用している兵庫県と、歯や福島県歯と

の交流の会議室も設けている。「ゲートウェイ」という特性によってFCサーバー同士の情報交換がなされている本会議室により、相互交流を深めるところとなった。

加えて、本システムの機能向上に伴い、PDAや携帯電話でも情報の閲覧を可能にし、クライアントソフトのない環境でもWEBアクセスが可能で、いつでもどこでも情報を見ることができるようになった。今年度からは「FC1」上で掲載した情報を、豊歯HP内の会員ページにも反映している。なお、「FC1」には誰でも加入できる。

（青森県歯科医師会企画調査
担当理事・鈴木 聡）

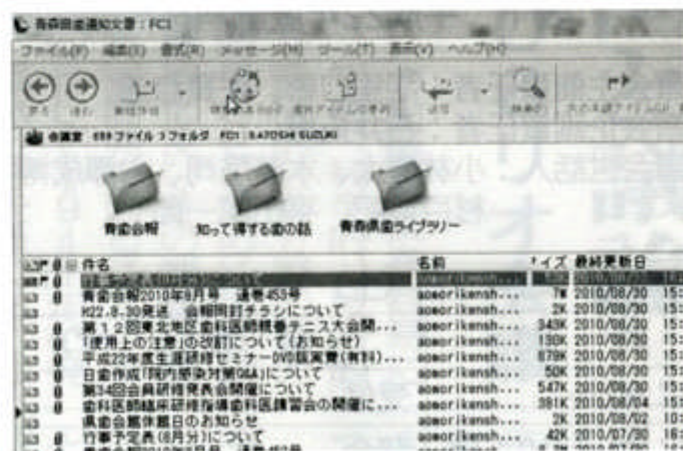


図2 会議室「青森県歯通知文書」